

令和元年度第4回袖ヶ浦市子ども・子育て支援会議 会議録

1 開催日時 令和元年12月13日(金) 午前10時開会

2 開催場所 市役所旧館3階大会議室

3 出席委員

委員長	和田 操	委員	高橋 悦子
副委員長	武井 千尋	委員	清水 和也
委員	福原 祐子	委員	神崎 保
委員	江澤 孝	委員	大熊 賢滋
委員	柳瀬 芳枝	委員	寺田 陽一
委員	小林 清子	委員	鈴木 美由紀
委員	福島 桜子	委員	谷本 有美
委員	田中 直子	委員	松下田 美幸

4 欠席委員

委員	井上 美鈴	委員	小熊 良
委員	小貫 篤史	委員	刃田 令子

5 出席職員

福祉部長	今関 磨美
子育て支援課長	生方 和義
子育て支援課子育て環境推進班長	漆原 聡美
子育て支援課こども家庭班長	長谷川 操
子育て支援課子育て環境推進班 副主査	巽 浩二郎
子育て支援課子育て環境推進班 主任主事	小野 さおり
保育課長	田中 敦則
保育課保育班長	勝畑 孝光
健康推進課上席保健師(すこやか親子班長)	茂木 敬子
学校教育課副課長(学事保健班長事務取扱)	竹川 義治
学校教育課教育指導班 指導主事	南 啓介

6 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5人
傍聴人数	0人

7 議題

- (1) 袖ヶ浦市子育て応援プラン(案)について
- (2) その他

8 議事

1 開会

2 委員長挨拶

※委員長より挨拶

3 議題

(1) 袖ヶ浦市子育て応援プラン（案）について

①第1章～第4章

和田議長

それでは、議題に入ります。

議題（1）袖ヶ浦市子育て応援プラン（案）について、事務局より説明をお願いします。

※事務局から資料1-1、資料1-2により説明

【 質疑・応答 】

和田議長

1章から4章までの説明を事務局からいただきましたが、これに関する質問がありましたらお受けしますので、挙手をお願いしたいと思います。

福島委員

80 ページの基本目標7 配慮を必要とする子どもについて、7-10の療育支援の事業が障害児施策の中に入っているのですが、8割以上は障害のないお子さんが通ってきているので、このページにだけ載せるのは誤解を招きます。障害ということではないのだけれども、子どもの発達について心配なので相談したいという方が大半なので、別のところにも載せていただけるといいと思います。

和田議長

事務局、お答えいただけますか。

事務局

60 ページの1-13の各種相談の中に療育支援に関する相談を入れるということで検討してまいります。

和田議長

ほかに質問はございますか。福原委員、どうぞ。

福原委員

66 ページの下ですけれども、2-9ということで、性に関する正しい知識の啓発・指導のところがあまして、保健所では「望まない妊娠の減少」という本人主体の表現をしているのですが、そちらは「望まれぬ妊娠」ということで、周りの人も含めた表現にしたのか、望まれぬという表現にした理由があったら、教えていただきたいと思います。

和田議長

事務局、よろしく申し上げます。

事務局

御意見をありがとうございます。こちらの内容につきましては、申しわけありませんが担当の職員が本日は出席しておりませんので、持ち帰り検討させていただければと思います。

和田議長

よろしいですか。

福原委員

別に望まないがいいというわけではなくて、意図的なことがあれば、望まれぬという表現でいいと思うのですけれども、御検討をお願いできればと思います。

和田議長

検討の上、次回の席上で答弁をお願いしたいと思います。
ほかにございますか。小林委員、どうぞ。

小林委員

68 ページの3-2の福祉教育というところで、これからの子どもたちに思いやりの心を育てるといったことは、すごく大事なことだと思います。目が不自由な方や車椅子に乗っている方の体験をすることは、これまでも学校で実施されていたと思いますけれども、今後更に拡大していくのか教えていただきたいと思います。

和田議長

答弁をお願いします。

事務局

福祉教育ですが、今、委員からもお話しがありましたとおり、各学校で多くは3年生の総合学習において、車椅子の体験をして福祉に関する意識を高める活動をしています。

今後これを拡大するののかというご質問についてですが、学習指導要領が来年度大幅に改訂されることから、授業時間数の確保は大変大きな課題になっております。さまざまな教育内容を学校に求められる中で時間的な制約があり、福祉教育を2倍3倍と増やしていくことは、現状難しいと考えております。

ただし、来年オリンピック・パラリンピック等も開催されることから、オリパラ教育等の様々な教育の中で子ども達の福祉の心を育てていくことを、各学校で工夫しながら続けてまいりますので、御理解をいただければと思います。

和田議長

小林委員、よろしいですか。ほかに質問はございますか。

武井委員

61 ページの1-19の新規事業に保育所業務の効率化推進事業という項目があるのですけれども、現状、どこの保育園もそうだと思うのですが、保育士の確保が非常に困難になっております。例え

ば業務の記録であったりとか、午睡中に見守りの記録を書いたりといった事務量が多くなってきているのも、原因のひとつであると思います。システムの導入によってその辺の事務を効率化させることを検討されているかについて、お伺いしたいと思います。

事務局

ただいまご質問にありましたとおり、ソフトを導入いたしまして、少しずつ業務改善を図っていき、最終的には事務の効率化につなげていきたいと考えております。

和田議長

ほかに質問はございますか。

それでは、質問がないようですので、引き続き、5章以降につきましての説明を事務局からお願いいたします。

(1) 袖ヶ浦市子育て応援プラン(案)について

①第5章～第6章

※事務局から資料1－2により説明

【 質疑・応答 】

和田議長

ただいま事務局から案の第5章、第6章の説明がございました。内容が複雑というか、細かくなっておりますので、目を通されまして、質問をお願いしたいと思います。いかがですか。

寺田委員

今、世の中も働き方改革などが進んでいるところで、教員や先生たちも子どもたちが多くなると、仕事の質も悪くなってきます。それから、先生方の時間外の多さも大分問題になっていきますので、先生の仕事の量もそうですし、時間外もしっかり考慮して、この先の見込み等を作っていくだけでいいと思います。

和田議長

今、働き方改革を含めまして時間外等の質問がございましたけれども、事務局はどうお考えなのか、現段階での考えをお教えいただければと思います。

事務局

ご承知のとおり、働き方改革は学校でも大変大きな問題になっております。業務量について、まずは勤務実態の把握に関する文科省の通知があったため、各学校で取り組んでいるところです。その中で、業務量を落としながらでも、子どもたちに対する質は下げられない部分があるので、その辺りのバランスを考慮しながら取り組んでおります。

和田議長

他にございますか。

武井委員

たびたびすみません。今の質問とかぶるのですけれども、現場の意見としてお話をさせていただ

きたいと思います。

先ほどの質問の中にもありましたが、保育士の確保というところが、今、大変厳しい状況になっているということは、皆さんも御存知だと思います。保育士を養成する学校は都市部に多くありまして、養成校の卒業生も、半分ぐらいが民間企業に就業したりということで、保育士にならない方がかなり増えているところがあると聞いています。また、都市部は賃金がこちらよりもかなり高いということがありまして、県南の保育所で働きたいという方は少なくなっているところがあります。

子育て日本一の市を目指しているということもありますけれども、保育士が働きやすい日本一の袖ヶ浦市であって欲しいと考えております。私たちは民間ですが、行政と一緒に、どうしたら保育士が集まるのか、また、保育士が働きやすい環境というのは、どういうことに取り組んでいったら良いのかということと一緒に考えていけたらいいと思っておりますので、よろしく願いいたします。意見ですみません。以上です。

和田議長

ほかに意見等、質疑がある方は挙手をお願いします。田中委員、どうぞ。

田中委員

108 ページの最後の⑩なのですけれども、各放課後児童クラブにおける育成支援の内容などを地域住民へ周知する方策等というところで、広報紙や子育てポータルサイト等という記述があります。

以前のはっぴー・ネットという情報サイトから、子育てポータルサイトが変わったと思うのですが、はっぴー・ネットのときには、サイトを見て私たちの活動に参加してくださる方も増えてきていたのですが、子育てポータルサイトになってからは、余りそういう声を聞かなくなりました。

よく仕組みがわかっていないのですけれども、袖ヶ浦市の子育て情報を一覧できるサイトではなくなったのでしょうか。新しいサイトにどれぐらいアクセスがあるか、活用している方たちがいるのかということは分かりますでしょうか。

和田議長

事務局、お答え願います。

事務局

田中委員のおっしゃるとおり、平成 31 年 4 月に市の公式ホームページ内に子育てポータルサイトをリニューアルオープンしました。サイトの名称は以前のはっぴー・ネットという名前を引き継いでおります。

市ホームページのトップにもバナーを張っているので、アクセス数はこれまでよりも多くなっております。11 月末現在において、既に前年度 1 年分のアクセス数を上回る約 3,600 アクセスを達成したところです。

新しいポータルサイトは「ちば My Style Diary」という県のアプリとも連動しているので、アプリを登録している方ですと、ホームページに更新をした内容がそのままアプリに反映されるようになっております。若いお母さんはスマホを利用されている方が多いので、アプリの通知機能を活用していきたいところですが、ダウンロード数が伸びないところが問題になっているため、啓発に努めていかなければならないと思っております。

今年 1 年間、市のホームページ内でポータルサイトを運営した結果、実際にそこからの事業へのアクセスが減っているといったことがあれば、反省して、また来年度以降に活かしてまいりたいと思います。

和田議長

ほかに質問はございますか。よろしいですか。

それでは、質問がないようですので、ただいま各委員から出されました案に対する意見を踏まえまして、事務局でも検討いただきたいと思います。

(2) その他

和田議長

それでは議題(2)に進みますので、事務局から説明をお願いいたします。

※事務局から(仮称)ユーカリ保育園の概要について報告。

【 質疑・応答 】

和田議長

新たな保育園が来年4月にオープンされるようですけれども、何か意見はございますか。

高橋委員

意見ではないのですけれども、今、建設中ということで、園庭などはどのくらいの大きさなのかを知りたいと思います。スクルドエンジェルに入られたお子さんの保護者が、お子さんをこども館に連れてこられて、広いところで遊ばせたいとか、お隣の大空保育園の園庭開放が利用できるので、そのときに見えたりする方がいらっしゃると思います。

こども館の利用者さんから聞かれることもありますので、今度、新しくできるユーカリ保育園の園庭の広さはどのくらいなのか、わかる範囲内で教えていただければ、よろしくをお願いします。

和田議長

わかる範囲で結構ですので、答弁願います。

事務局

まだ認可の前でございますので、決定ではないのですけれども、敷地内に屋外遊技場、園庭として、300平米弱程度の園庭の確保がございまして、小規模保育もそうなのですけれども、基準上は、2歳以上のお子さんの人数に対して、何平米以上確保してくださいということになっていまして、スクルドさんの小規模保育、今回のユーカリ保育園も最低限の基準は満たす形になっております。

スクルドさんは、商業施設の中に開設している施設ですので、スペースの確保が難しかったというところで、最低限になってしまっているのですけれども、近くに公園がございまして、散歩に出かけたりとか、そういったこともあると聞いております。

あと、認定こども園まりんの隣ですが、まだ更地なのですけれども、大きい公園ができる予定になっております。そちらができれば、割と近い場所になりますので、散歩の際には広いところでも遊べるようになると思います。

和田議長

ほかに意見がなければ、議事はここで終了させていただきますので、事務局にお返しします。

4 閉会